

戦後、 長崎の復興

長崎市を読み解いてみませんか？

長崎市では原爆による被災後、国際文化都市として建設するため、1949年5月の国会において長崎国際文化都市建設法が満場一致で可決されました。それから70年経った今、戦後何が施されたのか？緊急性と理想とのなかで当時の人たちが出した答えとは？

戦前を踏襲するもの、刷新されたものを振り返りながら、原爆からの復興という長崎市の歩みを振り返ります。

また講演会終了後、戦後復興期に建設され、公営住宅として役目を終えた魚の町団地の見学を行います。見学会を希望される方は動きやすい格好でお越しください。

DATE

2019年 5月11日 13:30-17:00 (申込締切4月25日)

PLACE

長崎市市民会館大会議室(1F:長崎市魚の町5-1)

FEE

100円(資料代および保険料)

開場	13:00 -	
講演	13:30 - 15:00	戦前・戦災復興期の長崎都市計画 浅野 純一郎先生(豊橋技術科学大学)
見学	15:15 -	魚の町団地見学(小グループ単位で先着順)

講師紹介:都市計画および都市史に造詣が深く、都市計画分野では現在の都市政策の課題を実証的なアプローチで取り組まれています。都市史においては、日本の地方都市に着目し、全国の戦後復興期の様相に精通しておられ、今回は長崎市の特徴を中心に講演いただきます。

お問い合わせ

長崎大学工学部 安武研究室
095-819-2600
yasutake@Nagasaki-u.ac.jp

お申し込みはwebから

<http://urx.space/YEv9>



主催：日本建築学会九州支部長崎支所